

提言(専門委員会指摘事項)

ソフト的分類	提言	復旧・復興に向けた取り組み状況
避難訓練	時間や季節など、あらゆる想定をした訓練をすべき。	提言のとおり実施するよう検討中。
	自動車を使った防災訓練を行い、渋滞や駐車シミュレーションもすべき。	提言のとおり実施するよう検討中。
ハザードマップ		
防災教育	「津波がきたら逃げる」という防災意識の徹底をすべき。	パンフレット配布等をし防災意識の醸成をはかる。
避難手法	徒歩ではなく車での避難を前提とした避難計画も作成すべき。	提言のとおり実施するよう検討中。
	大きな基準とは別に地区ごとのローカルルールが必要。	提言のとおり実施するよう検討中。
過去の教訓・伝承(防災文化)	津波到達地点等にある津波記念碑等の保存をし、「防災文化ゾーン」にすべき。	提言のとおり実施するよう検討中。
コミュニティ		
その他	大災害後、防災の願いは8年まで。その後は忘れられていく。	定期的に避難訓練をする等、防災文化が継続していくための仕組みを検討中。
	昔の宿場町、街道に防災機能あった。昔の町づくりに学ぶことも必要。	提言を参考にまちづくりを検討中。

施設整備	提言	復旧・復興に向けた取り組み状況
防潮堤		
水門・陸閘	水門は常時閉鎖を基本とし、洪水時のみ開ける運用にすべき。	改正された水防法に基づき「操作員の安全を確保する」手法として検討中。
高台移転	命、生活だけでなく、集落ごとの地域文化の違いを守り残す視点も重要。	提言のとおり実施するよう検討中。
避難路(道路)	ゆっくり歩いて避難できる避難路を作るべき。	提言のとおり実施するよう検討中。
	ハード、町づくり、ソフトの有機的整備が重要。とくに避難道路ネットワークづくりが重要。	提言のとおり実施するよう検討中。
	車での避難経路を考慮した町づくりが必要。	提言のとおり実施するよう検討中。
	町づくり計画は、近隣自治体も含めた道路ネットワークも考慮すべき。	提言のとおり実施するよう検討中。
その他	「防災文化」という言葉をハード整備にも使用すべき。忘れないためには文化に取り込むことが有効。	提言のとおり実施するよう検討中。